

JR東日本が3月21日にリニューアルオープンする 『青梅鉄道公園』に「TTG-GATEWAY」を導入 ～セルフレジとゲートの活用による利便性と省人化の両立を目指して～

株式会社TOUCH TO GO（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿久津 智紀）は、東日本旅客鉄道株式会社八王子支社（所在地：東京都八王子市、支社長：氏森 毅）が2026年3月21日（土）にリニューアルオープンする『青梅鉄道公園』において、多機能セルフレジ「TTG-MONSTAR」とそれと連動するセキュリティゲート「TTG-GATEWAY」を採用いただきましたことをご報告いたします。『青梅鉄道公園』は、東京都青梅市永山公園内に位置し「中央線・青梅線をはじめ鉄道の歴史を伝える学びの場」として新たに生まれ変わる同施設の利便性向上と、スマートな運営体制の構築を目的としています。



「TTG-MONSTAR」及び「TTG-GATEWAY」



青梅鉄道公園 完成イメージ

■ 今回の取り組みについて

今回のシステム導入により、入園受付における一連のプロセスを自動化し、お客様にとって快適でストレスのない体験を提供いたします。具体的な利用方法として、お客様にはまず入口に設置された多機能セルフレジ「TTG-MONSTAR」にて入園料をお支払いいただけます。精算後に発行されるレシートにはQRコードが印字されており、そのコードをセキュリティゲート「TTG-GATEWAY」の読み取り部にかざすことで、スムーズな入場が可能となります。なお、退館時は人感センサーを活用したフリーゲート方式を採用しており、立ち止まることなく円滑に出口を通過いただけます。

また、本システムはJR東日本が管理・運営する「JRE MALLチケット」での入館にも対応しており、今後はチケットを購入されたお客様もゲートを通過してスムーズに入館することを実現します。導入されるゲートはバリアフリー対応となっており、車椅子をご利用の方やベビーカーをお連れのお客様、お子様連れの方にとっても安全かつ快適に利用できる設計となっております。こうした最新のゲートシステムの導入により、施設のアクセシビリティを大きく向上させ、すべてのお客様が安心して鉄道の歴史や体験コンテンツを楽しめる環境を整えます。

■多機能セルフレジ「TTG-MONSTAR」について

券売機、セルフレジ、セミセルフレジの1台3役をこなす多機能セルフレジ「TTG-MONSTAR」。レジ業務を担うことによりレジ人員を最大50%カット、自動レジ締め機能により閉店時の締め作業も不要。専用アプリによってどこでも売上管理、メニュー登録を可能にします。その他、時間ごとのメニュー切替や5か国語の多言語対応、セキュリティゲートとの連動、コールセンターサポート、レジの一部機能縮退による24時間営業の実現など、豊富な機能で様々な業態のお店に合わせてご利用いただけます。



[TTG-MONSTAR]



[TTG-GATEWAYを導入した他社店舗例]

■施設概要

名 称：青梅鉄道公園

住 所：東京都青梅市勝沼2丁目155

開 業 日：2026年3月21日（土）

営業時間：10:00～16:00

定 休 日：毎週火曜日

入 園 料：おとな（中学生以上）500円、小学生200円、3歳以上未就学児100円

■株式会社TOUCH TO GOについて

会 社 名：株式会社TOUCH TO GO

代 表 者：代表取締役社長 阿久津 智紀

事業内容：無人決済などの省人化システム及びサービスの企画、設計、開発、保守及び販売

事 業 所：東京都港区高輪2-21-42 TokyoYard Building 8F

設 立：2019（令和2年）7月1日

U R L：<https://ttg.co.jp/>